

# 親子聖書日課

[日]主が復活してから50日目(ペンテコステ)に、聖霊が弟子達の上に降ると、ふしぎなことに外国語で話し出しました。これは弟子達の語学力ではなく、聖霊の力です。「神の偉大な業」主の十字架と復活を語る時、戸惑いも起きるのです。

[月]ダビデは主よりも千年前の人でしたが、「いつも目の前に主を見て」いました。どんなに多忙でも、主との交わりは絶やしませんでした。主を信頼していたので、不安は消え、喜びに満たされました。主との交わりこそ、第一にすべきことです。

[火]初代教会の人達は、「毎日ひたすら心を一つにして」祈り、主にある交わりをしたので、救われる人が起こされました。サンデークリスチャンではありません。主の愛に応じて、毎日、神第一の生活を選び取ったことが、良い証になりました。

[水]教会にお金をねだりに来る人がいます。その時、紹介する言葉が、6節です。お金を与えても、その人の自立になりません。しかし、主を伝え、相手が主を受け入れるなら、「立ち上がって歩く」ことができます。「主のみ名こそ」伝えましょう。

[木]知らずにしたからといって、罪が赦されるのではありません。ユダヤ人の霊的無知が主を十字架につけたのです。言い訳は無用。ただ「ごめんなさい」と主に謝り、「悔い改めて立ち帰る」神中心に生きることです。罪は消し去られます。

[金]どんなに医学が進歩しても、死はやってきます。どんなに科学や教育が発達しても、罪はなくなりません。全人類を罪と死の滅びから救い出せるのは、昔も今もキリストだけです。「天下に主イエス以外に救いはない」と大胆に語り続けましょう。

[土]使徒たちの困難な伝道報告を聞いた人々は、「今後、どうしようか」と話し合ったのではありません。心を一つにして祈り合いました。「思い切って大胆に御言葉を語れますように」と。すると聖霊に満たされ、大胆に語り出すことができました。



NO.1495 2017.5/21-27

名前

	聖書	問題	答え
日	使徒言行録 2:1-21	一同は聖霊に満たされ何が語らせるままに、他の国の言葉で話したか	
月	2:22-36	ダビデはいつも目の前に誰を見ていましたか	
火	2:37-47	いつ、ひたすら心を一つにして神殿に参りましたか。	
水	3:1-10	金銀はないが何の名によって立ち上がり、歩きなさい、と言ったか。	
木	3:11-26	自分の罪が消し去られるように、どうすべきですか。	
金	4:1-22	私たちが救われるべき名とは、誰の名ですか。	
土	4:23-37	僕たちが、どのように御言葉を語ることができるように祈りましたか。	
感想と祈りの課題			